

実践プレゼン力養成研修のご案内

プレゼンの「本質」から「テクニック」まで学べる実践型3Days研修

PRESEN
TATION
PLAN
NING

はじめに

「実践プレゼン力養成研修」に関心をお持ちいただきまして、誠にありがとうございます。世の中には、様々なプレゼンテーション研修が存在しますが、そのほとんどが「話し方」「ロジック」といったテクニックを重点的に伝えています。確かに、伝わるプレゼンを行うためにはテクニックも必要ですが、それ以上に、「**プレゼンの本質**」ともいべき**プレゼンに対するスタンスが大切であると考えています**。テクニックだけ上達しても、「相手を動かすプレゼン」は実現できないからです。

そこで私は、テクニックを学べることはもちろんのこと、「**プレゼンの本質的思考法**」にも**重点をおいたプログラムを開発しました**。土台となる本質を身につけた上で、実践的なテクニックを学ぶことにより、様々なシーンで活かせるプレゼン力を身につけることができます。

また、プレゼンには、「シナリオづくり」、「スライドデザイン」、「伝え方練習」という3つのプロセスがあり、当研修では、このすべてのプロセスをトータルに学ぶことができます。これらは、他プレゼン研修との大きな違いであり、当研修が選ばれる理由でもあります。

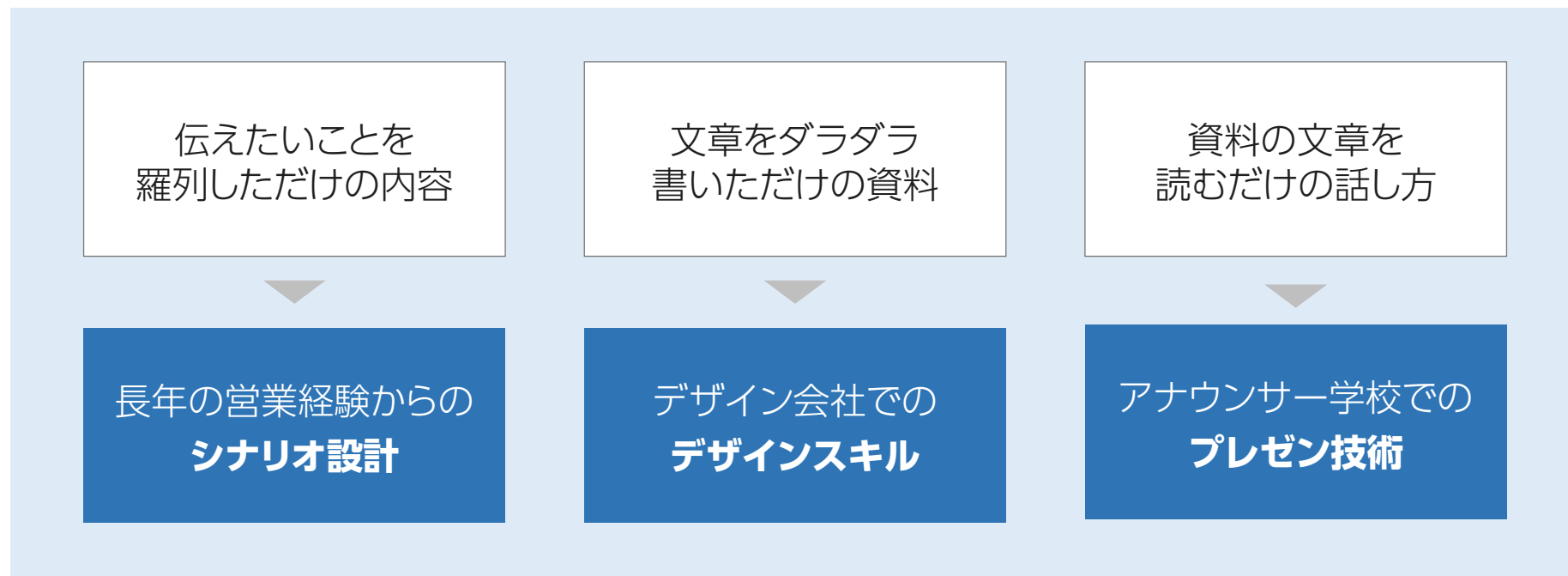
「**プレゼンの本質**」を知り、「**心を動かすシナリオ**」と「**分かりやすい資料**」をつくり、「**伝わるプレゼン**」をする。**このすべてを学び、実践することができる当研修を、ぜひご活用ください。**

よくあるプレゼン研修



**それぞれのテーマ毎に研修を受講する必要がある
一貫性がないため、高い学習効果を得られない**

実践プレゼン力養成研修



**すべての内容を同一の講師が開発・担当するため
研修に一貫性があり、受講者が再現しやすい**

カリキュラム

CHAPTER1 プレゼンの本質

1. PRESENTATION3.0

- (1)プレゼンの定義
- (2)PRESENTATION1.0からPRESENTATION3.0へ
- (3)機能と価値の違い
- (4)潜在的価値を伝える

2. プレゼンを構成する3つの要素

- (1)プレゼンを構成する3つの要素
- (2)「伝え方が一番大事」は本当か
- (3)聞き手の心理プロセスから考える

3. プレゼンの正しい準備の仕方

- (1)いきなりパワーポイントを開いてはいけない
- (2)内容設計と実践練習が成功を左右する

CHAPTER2 内容設計

1. ゴールを設定する

- (1)具体的なゴールの設定方法

2. 構成を組み立てる

- (1)ホールパート法
- (2)スーパーホールパート法

3. 内容をつくる

- (1)発散思考と収束思考
- (2)相手の記憶に残るプレゼンを

4. ワーク

カリキュラム

CHAPTER3 資料作成

1. プレゼン資料のあり方

- (1) プレゼン資料に求められる姿
- (2) スライドと配布資料の役割の違い

2. 資料づくりの基本4ステップ

- (1) プレゼンの流れを明確にする
- (2) 補助スライドの活用
- (3) プレゼンの立体感を表現する

3. 伝わる資料のデザインルール

- (1) デザインの定義
- (2) 各要素のデザインルール

4. ワーク

CHAPTER4 実践練習

1. プレゼン技術を構成する3要素

- (1) 印象マネジメントで第一印象をコントロールする
- (2) 伝達ワードでプレゼンに流れを
- (3) 発表ツールでプロプレゼンターに

2. プレゼンターの心構え

- (1) 真剣さ
- (2) 気楽さ

3. プレゼンの練習方法と質疑応答

- (1) 正しい練習の仕方
- (2) 正しい質疑応答の仕方

4. ワーク

受講者様の声

初めて、こういった営業系の研修に参加しました。
資料の作成方法、プレゼンの仕方、大変勉強になりました。
今後経営会議資料とクライアントへの報告書を提出する
機会がありましたが、もっと早く受講できていれば良かったと思
います。

初めて、こういった営業系の研修に参加しました。資料の作成方法、プレゼンの仕方、大変勉強になりました。今まで、経営会議資料やクライアントへの報告書を提出する機会がありましたが、もっと早く受講できていれば良かったと思います。(サービス | 40代男性)

プレゼンは才能ではなく、プロセスを踏めば良いモノが出来るのだと確信できました。
普段から、Visual、Vocalは意識するようにします。
短時間ででしたが、わかりやすかったです!!

プレゼンは才能ではなく、プロセスを踏めば良いモノが出来るのだと確信できました。普段から、Visual、Vocalは意識するようにします。短時間ででしたが、わかりやすかったです!! (IT | 30代男性)

自分のいいところではなく、相手に“価値”を伝えるという考え方のものがとても大切だと思いました。その気持ちだけで、プレゼンの内容やデザインも大きく変わるという実感も得ました。

自分のいいところではなく、相手に“価値”を伝えるという考え方そのものがとても大切だと思いました。その気持ちだけで、プレゼンの内容やデザインも大きく変わるという実感も得ました。(IT | 20代男性)

営業になって半年なので、このタイミングでプレゼンテーションの資料づくりのポイントから伝え方まで教えていただけるととても参考になりました。

営業になって半年なので、このタイミングでプレゼンテーションの資料づくりのポイントから伝え方まで教えていただけるととても参考になりました。(通信 | 20代女性)

受講者様の声

聞き手への「価値の提供」という事は、普段考えずに、プレゼンしていた事を思い知らされました。今まで伝える事が90%と言う情報があるなかで、ちがった考え方の講座でとても興味がわき勉強になりました。

聞き手への「価値の提供」という事は、普段考えずにプレゼンしていた事を思い知らされました。今まで伝える事が90%と言う情報があるなかで、ちがった考え方の研修でとても興味がわき勉強になりました。(IT | 30代男性)

高橋さんのプレゼン自体が一番の学びのツールでした。口ぐせ等の雑音が全くなく、終始聞き易く、分かり易い研修でした。
~~自身~~ 自信を感じさせるプレゼンで、自分の苦手な部分なので、参考にさせていただきます。

高橋さん(講師)のプレゼン自体が一番の学びのツールでした。口ぐせ等の雑音が全くなく、終始聞き易く、分かり易い研修でした。自信を感じさせるプレゼンで、自分の苦手な部分なので、参考にさせていただきます。(サービス | 30代男性)

実践が多ク、自分の改善点が明確になりました。部署内の同僚のプレゼンも、自分と比較して見る事ができて良かったです。

実践が多く、自分の改善点が明確になりました。部署間の同僚のプレゼンも、自分と比較して見る事ができて良かったです。(不動産 | 30代女性)

構成、練習、PPTの機能の使い方が役に立った。面白い講座で、楽しんでリラックスして受講できた。

構成、練習、PPTの機能の使い方が役に立った。面白い研修で、楽しんでリラックスして受講できた。(通信 | 20代女性)

費用

792,000 円(税込)～

<他社比較>

	A社 (某有名企業系研修会社)	B社 (SEOに強い研修会社)	当研修
内容	主に「シナリオ設計」「伝え方練習」のメソッドを学べます。一般的に、「話し方」の練習時間が多いです。		「シナリオ設計」「伝え方練習」だけでなく、プレゼンに欠かせない「 資料デザイン 」および「 プレゼンの本質的思考 」を含め、トータルに学べます。さらに、一部、動画による復習コンテンツをご用意しています。
時間	7時間 (1日間)	6時間 (1日)	9時間 (3日間)
費用 (1名1時間あたり)	9,400円	4,400円	4,400円 [※]

※最少定員20名の場合の金額です

講師プロフィール



PRESENTATION PLANNING

高橋 恵一郎

2003年に早稲田大学教育学部理学科を卒業後、日立製作所に入社。官公庁をクライアントとしたシステム営業に従事する。その後、金融機関での営業企画や教育系ベンチャーでの新規事業企画を経て、2014年にプレゼンのデザインを手掛けるスタートアップにコアメンバーとして参画。同業界においては異例の「人材育成事業」を立ち上げ、事業責任者として戦略立案および推進を行う。

2016年に独立し、プレゼンのシナリオ設計や資料デザイン、デリバリートレーニング等、プレゼンに関するトータルなコンサルティングを手掛ける。これまでに、年商数億円から数千億円規模の大企業、中小企業において、新社会人から経営者クラスまで幅広い層を対象とした指導実績がある。自身の、様々な成功&失敗体験を通じて構築した、表面的でない本質的なプレゼンメソッドが売り。

2019年よりYouTubeチャンネル「ザ・プレゼン大学」を運営。著書に『いちばんやさしい資料作成&プレゼンの教本』（インプレス）。

<主な実績>

- 法人研修 計50社以上 受講者数2,000名以上
- 公開講座 計600回以上 受講者数4,000名以上
- 動画講座 受講者数5,000名以上



このたびは、ご案内の機会をいただきまして、誠にありがとうございます。実践プレゼン力養成研修へのお申し込み、お問い合わせは、以下の連絡先にて承ります。ご検討のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

PRESENTATION PLANNING

www.presentationplanning.tokyo
keiichiro_takahashi@me.com